

# 米沢興議館 SSH通信

第10号

平成25年2月19日  
米興高SSH企画部

先月の26日・27日に東北・北海道地区SSH指定校発表会が宮城県仙台第三高等学校で開催された。この発表会では、北海道と東北地方のSSH指定校23校の生徒が集い、日頃の研究成果を発表し議論する事で交流を深めていく事を目的としている。興議館高校からは2年理数科とSSクラブが参加した。1日目には各校の代表による口頭発表に加え、ポスターセッションも行われた。2日目は東北大学の教授や大学院生を講師に迎え、参加者が9コースに分かれて科学を通して交流を深めた。

興議館高校からは、2年理数科で行っている課題研究の中から、「圧電効果班」が口頭発表を、「石鹼の劣化班」「植物と音楽班」「カエルの体色変化班」がポスターセッションを行った。3月20日に本校講堂で行われる、SSH生徒研究発表会では、これらの研究も含めた課題研究発表も行われるので、興味がある方はぜひ会場に足を運んで頂きたい。



## 高校生の「科学する心」を体現する 東北・北海道地区SSH指定校発表会 開催

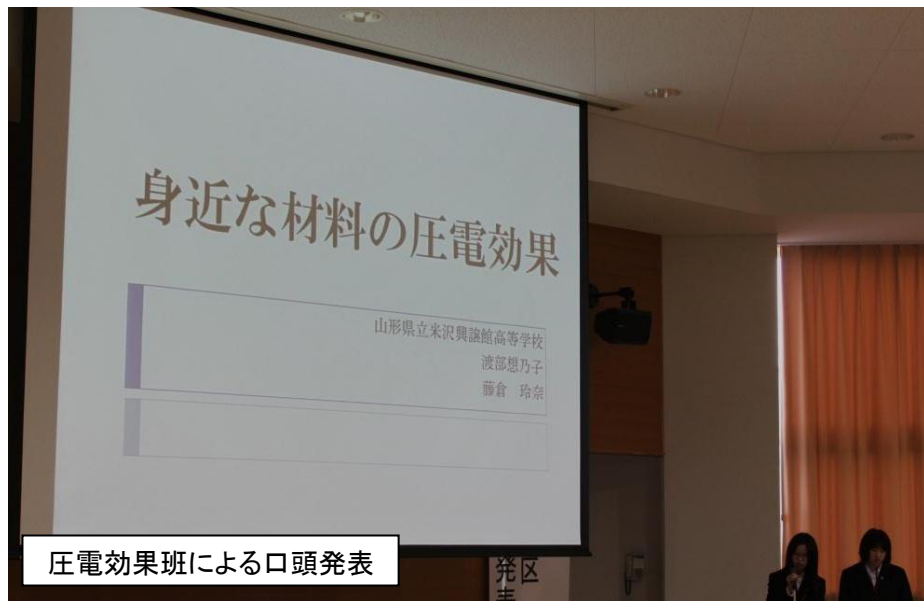
また、今回の発表を通して課題も見つかりました。3月には、私たちが1年かけて研究してきた成果を発表する課題研究発表会が行われます。そこでは、今回の経験を通過して成長した姿をお見せできればと思います。

また、今回の発表を通して課題も見つかりました。3月には、私たちが1年かけて研究してきた成果を発表する課題研究発表会が行われます。そこでは、今回の経験を通過して成長した姿をお見せできればと思います。

また、今回の発表を通して課題も見つかりました。3月には、私たちが1年かけて研究してきた成果を発表する課題研究発表会が行われます。そこでは、今回の経験を通過して成長した姿をお見せできればと思います。

【圧電効果班】 渡部 想乃子(長井南中 出身) 今回、この発表会では理数科を代表して4つの班が自分たちの研究内容を発表してきました。周りにいるのは、東北、北海道から集まった優秀な高校生や大学教授の方々ばかりです。飛び交う質問は鋭く、私は周囲のそんな勢いに圧倒されてばかりでした。そんな中、私は「身近な圧電効果」というタイトルで発表を行いました。自分の考えを相手に伝えることの難しさを改めて実感しました。

### SSH指定校発表会に参加して



圧電効果班による口頭発表

【石鹼の劣化班】 吉田 雅(米沢四中 出身) 今回の仙台でのSSH指定校の発表会では、私達の班はポスターセッションで発表させていただけました。

他の学校の発表の内容やポスターのまとめ方など、どれも素晴らしいものばかりでしたが、私達のポスターも山形大学の先生方のご協力もあり、とても見やすく、他の学校のものに引けを取らないものを作ることが出来ました。また、ポスターセッションの時に、他の学校の生徒や大学の先生方から質問・意見・アドバイスを頂くことが出来ました。仙台での発表を生かして、これからより良い実験・発表をしていきたいと思いました。



植物と音楽班によるポスターセッション

【植物と音楽班】 早坂 亮太(米沢二中 出身) 東北・北海道地区のSSH指定校による発表会で、私たちの班はポスターセッションをしてきました。

私は、今日この発表会に参加させていただき、そしてたくさんの方々の発表を聴いているうちに、視野を広く持つという事を学びました。ただ一つの道をひたすら進むのではなく、あらゆる経路を辿りながら試行を深めていくという事が2日間学んだ事です。私はこの学びを生かし、これからの研究を頑張っていきたいです。



2日目 サイエンスフォーラム

【カエルの体色変化班】 佐藤 卓(宮内中 出身) 今回の発表は、私達のような科学を志す人たちにとって大変有意義なものになりました。ポスターセッションでは、自分達の今までの研究の集大成を見せる気持ちで挑みました。準備段階においてはいろいろと大変な事もあったけれど、他校の生徒や教授の方々自分達の研究について真剣に話し合えて、すごく充実した内容だったと思います。口頭発表では各校とも自信溢れる研究を発表していました。どの学校も研究内容や発表方法に工夫が凝らされていて、大変興味がかかれるものが多くありました。今回の発表会で発表を聴く側と発表する側の二つの立場で参加する事で、科学を探究することの面白さの両方を再確認することが出来ました。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思います。

【SSクラブ】 村山 優也(米沢二中 出身) 私たちは、2年理数科と一緒に仙台第三高校へ行ってきました。本発表会に行くと、実験とはどのようなものかを学びました。実験と一口に言っても、アイデア重視のもの、凝ったもの、コアなもの、と様々な実験がありました。どれも興味をそそられる実験で甲乙つけがたいものでした。今回の発表会で、どのようなポスターやプレゼンテーションが分かりやすく、評価されるかが分かったので、今後の活動に繋げていきたいです。